

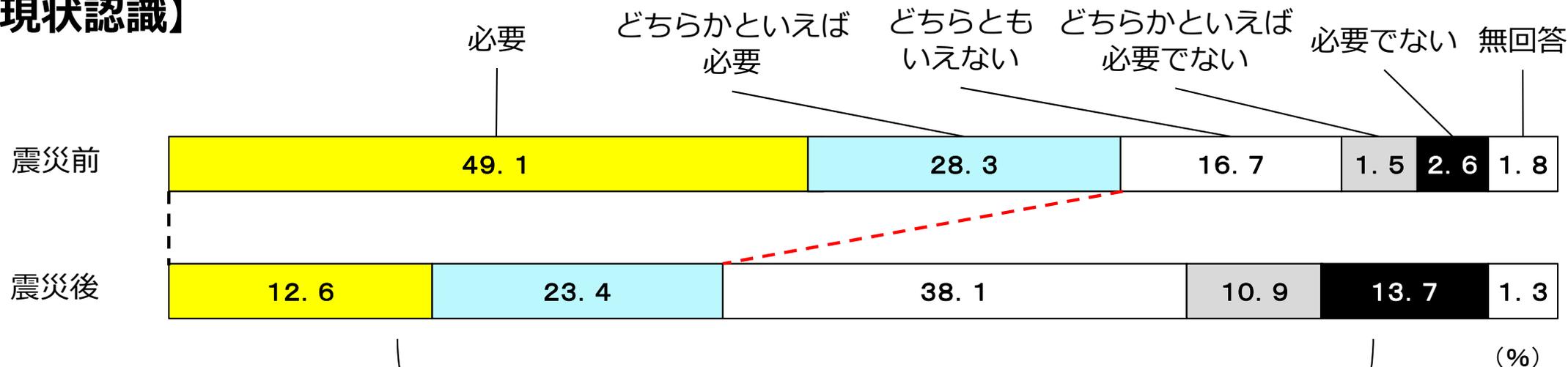
原子力発電の安全性に関する 情報発信について

～事業者側からの情報発信のあるべき姿～

平成29年2月23日
東北電力株式会社

原子力発電に係る事業者の現状認識と課題

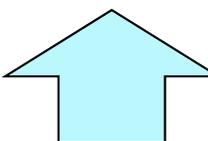
【現状認識】



出典：第23回原子力委員会資料「平成24年度
原子力利用に関する世論調査の結果について」

原子力発電の位置付け

- 「エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源」
(エネルギー基本計画：H26.4 閣議決定)
- 「2030年の原子力比率：20～22%」
(長期エネルギー需給見通し：H27.7 経産省決定)



【課題】

原子力信頼回復の
ために情報発信の
あるべき姿は…

事業者

- 安全性向上が責務
 - 規制要求への対応
 - + 自主的な安全性向上

情報発信のあるべき姿

① **真実を** (嘘をつかない, 隠さない)

② **わかりやすく** . . . (難しくては伝わらない)

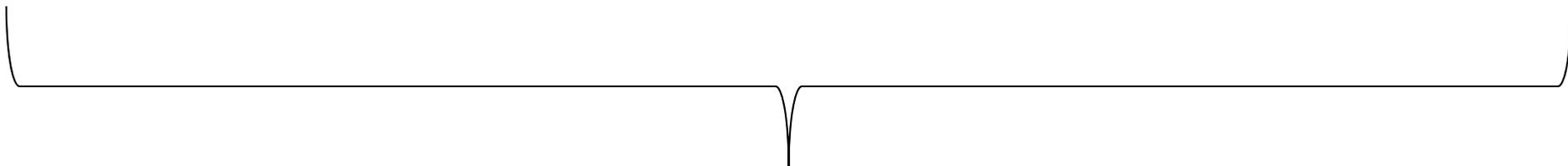
③ **傾聴する** (「聴く」気持ちが無ければ)

【課題】

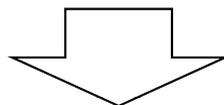
- どこまで？
- どの時期に？

• ⇔ 正確性？

• 説得 ⇒ 納得 ×



継続的な取り組み



信頼の形成

「情報発信のあるべき姿」をめざして（取り組み例）

① 真実を

② わかりやすく

③ 傾聴する



施設見学会

発電所だより

当社ホームページ



コミュニケーション研修



日常対話活動



社員視察研修



外部有識者会議

継続的な取り組みがベース ～地域社会の一員として～



各種イベントへの参加



奉仕活動



工事残土の
地域復興（高台造成）への活用

当社創業以来受け継がれる事業運営の基本的考え方

東北の繁栄なくして、当社の発展なし

当社コーポレートスローガン

より、そう、ちから。



社内報（全社一体となった取り組み）

平成29年1月18日 朝刊

見出しにおいて

「女川原発建屋ひび1130箇所

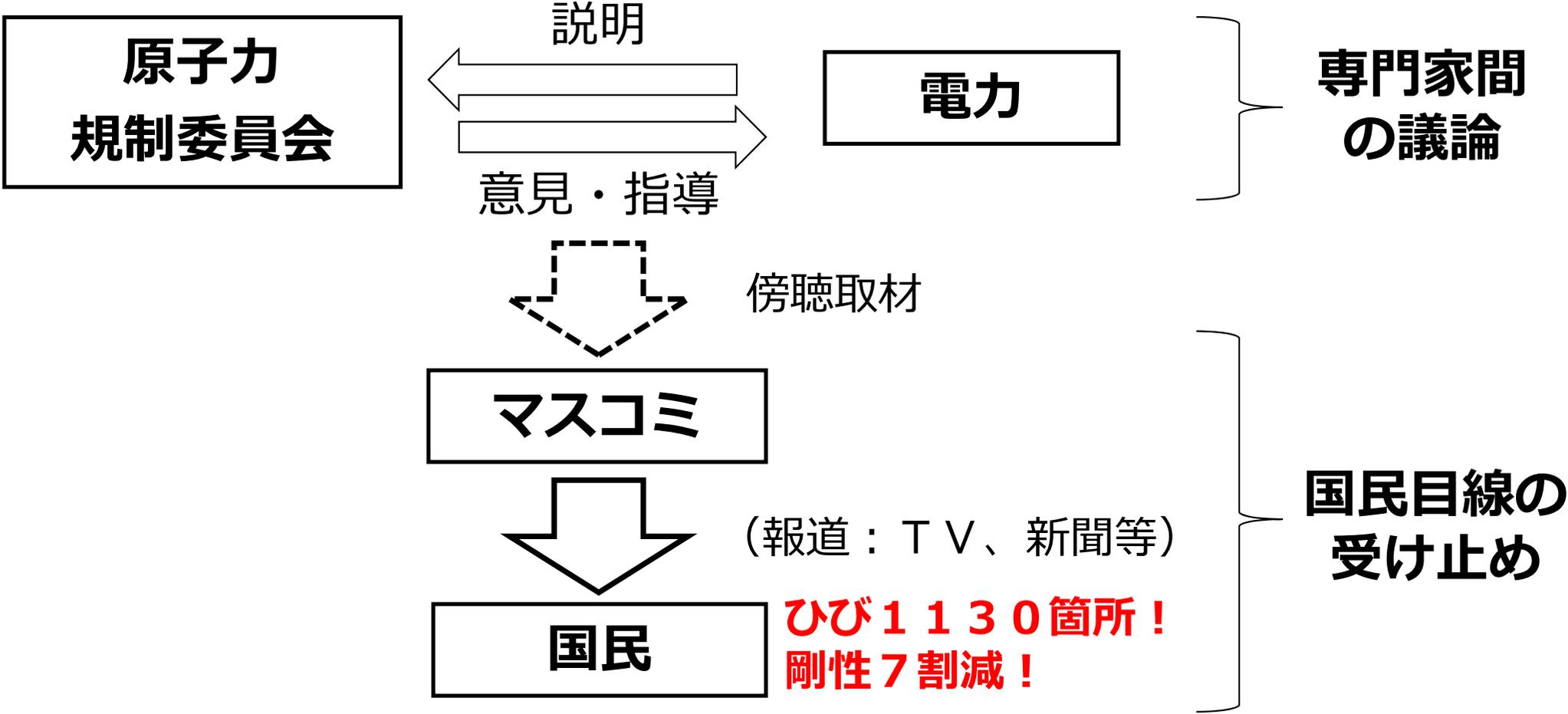
2号機 上部の剛性, 7割減」

(出典) 朝日新聞



女川の審査会合で説明

(審査会合)

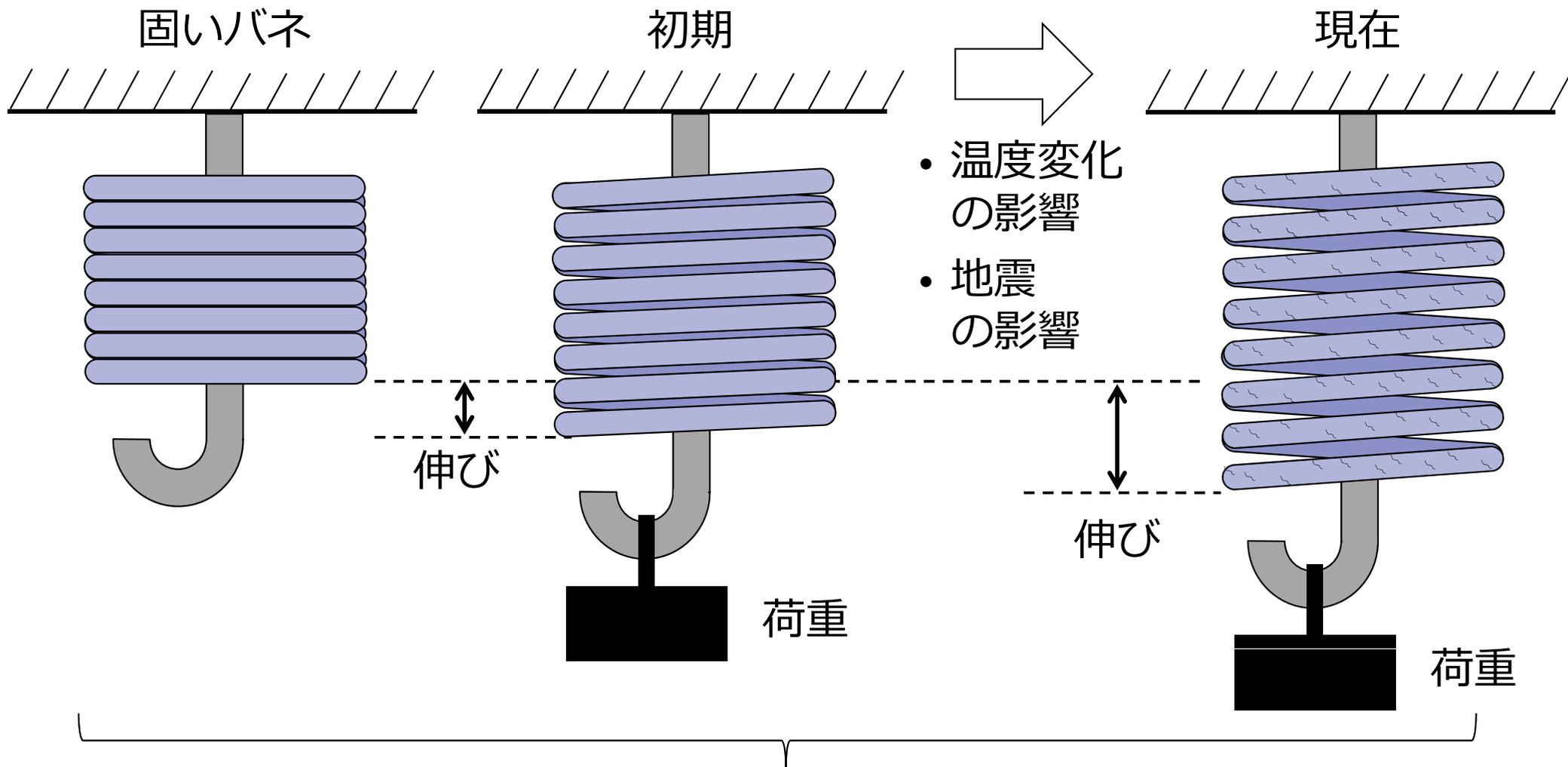


反省点

- 「国民目線でどう受け止められるか」の視点が不足！
⇒関係者への丁寧な説明が必要（事前説明，事後のフォロー等）
- 「専門的な事」を「わかりやすく説明」することの難しさ・・・

剛性とは？

弾性（伸びやすさ） ↔ 剛性（伸びにくさ）



伸びやすくなった（伸びにくさが低下した）
⇒バネが切れる×（バネの安全性に影響なし）